

- 問1 16世紀半ば、戦国時代から安土桃山時代にかけて行われた南蛮貿易において、日本がヨーロッパ諸国から輸入した品物と、日本から輸出した品物の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|--------------------------|-------------------------|---------------------|
| 1. 輸入：生糸・鉄砲・ガラス製品
輸出：銀 | 2. 輸入：砂糖・石油・機械
輸出：絹織物 | 3. 輸入：香料・陶磁器・木綿
輸出：金 | 4. 輸入：茶・仏像・銅銭 輸出：硫黄 |
|---------------------------|--------------------------|-------------------------|---------------------|
- 問2 豊臣秀吉が行った朝鮮出兵に際して、多くの朝鮮の技術者が日本へ渡り、薩摩焼や有田焼などの優れた陶磁器の技術が日本に伝わりました。これらの陶磁器も用いられた、当時の「茶の湯」の文化について説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 世阿弥が能を大成させ、武士だけでなく民衆の間でも茶の湯と共に流行した。 | 2. 足利義政が東山山荘を造営し、書院造の建物の中で貴族的な豪華な茶会を主催した。 | 3. 雪舟が水墨画の技法を確立し、茶室の床の間に飾るための風景画を多く描いた。 | 4. 千利休が「わび茶」の作法を確立し、茶室という限られた空間での精神的な美意識を広めた。 |
|--|---|---|---|
- 問3 次の文は、豊臣秀吉が出した刀狩令の目的について述べたものです。文中の空欄に当てはまる語句として最も適切なものはどれか。「百姓が【 】ことを防ぎ、耕作に専念させるために武器の所持を禁じた。」 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------------|-------------|------------|
| 1. 一揆をおこす | 2. キリスト教を信仰する | 3. 自由に商売を行う | 4. 年貢を滞納する |
|-----------|---------------|-------------|------------|
- 問4 豊臣秀吉が行った太閤検地では、京枡を用いて枡の大きさが統一され、土地の生産力がすべて米の収穫量に換算して表されるようになりました。この統一的な基準を何といいますか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 石高 | 2. 石代 | 3. 段銭 | 4. 貫高 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問5 15世紀から16世紀にかけて、ポルトガルがアフリカ大陸を南下し、喜望峯を回ってインドへ向かう航路を熱心に探索した主な目的は、どのような背景によるものですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---------------------------------------|
| 1. アメリカ大陸にあると信じられていた巨大な銀山を、スペインよりも先に発見するため | 2. 高価な香辛料を、イスラム勢力を仲介せずに直接インドから調達して利益を上げるため | 3. 地中海貿易の中心であったイタリアの諸都市と協力して、アジアの絹織物を独占するため | 4. キリスト教の布教を目的として、日本や中国への最短ルートを確保するため |
|--|--|---|---------------------------------------|
- 問6 織田信長が自身の本拠地である安土などの城下町において、「楽市・楽座」の令を出した主な目的として、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 農村の土地の広さや収穫量を調査し、その年の天候に応じて徴収する仕組みを作るため | 2. 寺社や公家の勢力を守るために、座の権利を保護し、市場での徴税を強化して軍事費をまかなうため | 3. 農民から刀や脇差などの武器を取り上げることで、一揆を防ぎ、武士と農民の身分を明確にするため | 4. 特定の商人が持つ独占的な特権を廃止することで、自由な取引を促し、城下町の経済を活性化させるため |
|--|--|--|--|
- 問7 太閤検地において、土地の生産力を表すために導入された「石高（こくだか）」の仕組みと影響について述べた文として正しいものはどれですか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 実際に収穫された米の重さを毎年計測し、その年の天候に応じて徴収する年貢の割合を変動させた。 | 2. 土地の面積に等級（生産性の違い）を掛け合わせて算出され、一人の耕作者が一つの土地を登録する原則が確立した。 | 3. 土地の所有権をあいまいにすることで、複数の貴族や武士が同じ土地から利益を得る荘園制を維持した。 | 4. 武士が戦場に連れて行く馬の数や武器の量を基準にして、それぞれの領地の価値を定めた。 |
|--|--|--|--|
- 問8 16世紀の堺が、周囲に深い堀を築き、商人による自治を確立させた歴史的な背景として、最も適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。 (2026年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 戦国時代の動乱の中で、大名などの外部勢力の侵入から自らの生命や財産を自衛する必要があったため。 | 2. 江戸幕府の鎖国政策の一環として、外国人の居住区を制限し、キリスト教の流入を監視するため。 | 3. 織田信長が楽市・楽座を導入し、古い特権を持つ商人を排除して新しい商業都市を建設するため。 | 4. 鎌倉時代以来の御家人が集まり、将軍に仕えるための政治的・軍事的な拠点を作る必要があったため。 |
|--|---|---|---|
- 問9 平安時代末期から鎌倉時代にかけて、日本国内では自ら貨幣を鑄造する代わりに、中国から「宋銭」を大量に輸入して流通させていました。このように輸入銭が広く使われるようになった背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--------------------------------------|
| 1. 幕府が国内産の貨幣の使用を禁じ、外国の貨幣を使うよう法律で強制したため。 | 2. 朝廷が律令制度を強化し、国家の権威を示すためにあえて外貨を採用したため。 | 3. 日宋貿易の拡大に伴い、国内の商業活動が盛んになって貨幣の需要が高まったため。 | 4. 日本国内での銅の産出が完全に止まり、貨幣の原料が一切不足したため。 |
|---|---|---|--------------------------------------|
- 問10 16世紀末に行われた豊臣秀吉による朝鮮出兵は、当時の日本の文化に大きな影響を与えました。この出来事をきっかけに、朝鮮から連れてこられた陶工たちによって九州を中心に始まった、日本初の磁器とされる伝統工芸品を何といいますか。その名称と背景として正しい説明を選びなさい。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 瀬戸焼。鎌倉時代に中国へ渡った陶工が持ち帰った技術をもとに、愛知県周辺で茶器などの生産が盛んになった。 | 2. 九谷焼。江戸時代初期に、加賀藩が朝鮮の陶工を招いて独自の色彩豊かな磁器を開発し、石川県で広まった。 | 3. 備前焼。平安時代から続く伝統的な技法が、朝鮮から伝わった新しい登り窯の技術によって改良され、岡山県で発展した。 | 4. 有田焼。朝鮮出兵の際に大名たちが優れた技術を持つ陶工を連れ帰ったことで、佐賀県を中心に磁器の生産が始まった。 |
|--|--|--|---|
- 問11 15世紀後半から16世紀にかけて、ポルトガルなどのヨーロッパ諸国が航海技術を発展させて海外へ進出した「大航海時代」の影響について述べた文として、正しいものはどれか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. スペインがブラジルを植民地としたため、周辺の国々とは異なりブラジルではスペイン語が公用語となっている。 | 2. ポルトガルの植民地となった影響で、南アメリカ大陸のブラジルでは現在もポルトガル語が公用語となっている。 | 3. 第二次世界大戦後の独立運動により、南アメリカの国々ではヨーロッパ由来の言語が公用語として使用されなくなった。 | 4. 産業革命による工業製品の輸出を目的として、ポルトガルが南アメリカ大陸の全域を支配下に置いた。 |
|--|--|---|---|
- 問12 16世紀、ヨーロッパでプロテスタントの勢力が拡大する中、カトリック教会が内部の自己改革を行い、勢力の回復を図るために海外布教を積極的に進めた動きを何といいますか。また、その中心となって日本へもキリスト教を伝えた組織の名称として正しい組み合わせを選びなさい。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|
| 1. 対抗宗教改革におけるイエズス会 | 2. ルネサンスにおけるメディチ家 | 3. 宗教改革におけるプロテスタント | 4. 十字軍におけるテンプル騎士団 |
|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 輸入：生糸・鉄砲・ガラス製品 輸出：銀	南蛮貿易では、ポルトガル人やスペイン人が東南アジアや中国の拠点を経して日本と取引を行いました。日本からは当時世界有数の産出量を誇った銀が大量に輸出され、見返りとして戦国大名たちが求めた鉄砲や火薬、さらに中国産の生糸やヨーロッパの珍しいガラス製品などがもたらされました。茶や銅銭の輸入は日宋貿易や日明貿易の特徴であり、砂糖や石油などはより後世の貿易品です。
問2	答え 4 千利休が「わび茶」の作法を確立し、茶室という限られた空間での精神的な美意識を広めた。	豊臣秀吉の朝鮮出兵は、日本の陶磁器文化に大きな発展をもたらした。それらは千利休が広めた茶の湯の道具としても活用されました。千利休は、きらびやかさよりも内面的な深さを尊ぶ「わび茶」を確立し、安土桃山時代の文化に大きな足跡を残しました。
問3	答え 1 一揆をおこす	刀狩の最大の目的は、百姓が武器を持って集団で抵抗する「一揆」を防ぐことにありました。武器を没収することで反乱のリスクを減らし、百姓を農業に専念させて年貢を確実に確保しようとした。
問4	答え 1 石高	太閤検地によって確立されたシステムであり、土地の生産力を米の体積（石）で表したものです。これを基準に年貢の量や、大名が負担する軍役などが決められました。「貫高」はそれ以前の中世において、土地の価値を銭の額で表していたものです。
問5	答え 2 高価な香辛料を、イスラム勢力を仲介せずに直接インドから調達して利益を上げるため	当時、コショウなどの香辛料は非常に高価で取引されていましたが、陸路や地中海を通るルートはイスラム教徒やベネチアなどのイタリア商人によって独占されていました。ポルトガルはアフリカ経由の海路を自ら切り開くことで、これらの仲介を排除し、莫大な富を得ようとした。
問6	答え 4 特定の商人が持つ独占的な特権を廃止することで、自由な取引を促し、城下町の経済を活性化させるため	室町時代まで、商工業者は「座」と呼ばれる団体を作り、寺社や公家に税を納める代わりに販売の独占権を認められていました。信長はこの仕組みが城下町の自由な発展を妨げていると考え、座を廃止して税を免除する「楽市・楽座」を実施しました。これにより、全国から商人を呼び寄せ、城下町を自勢力の経済的拠点にすることに成功しました。
問7	答え 2 土地の面積に等級（生産性の違い）を掛け合わせて算出され、一人の耕作者が一つの土地を登録する原則が確立した。	太閤検地では、測量した面積に土地の良し悪しに応じた「等級」を掛け合わせ、予想される米の収穫量を「石高」として定めました。また、検地帳には実際に耕作している農民の名前が一人だけ登録される「一地一作人の原則」がとられました。これにより、複雑だった荘園制の権利関係が整理され、農民が年貢を納める責任者であることが明確になりました。
問8	答え 1 戦国時代の動乱の中で、大名などの外部勢力の侵入から自らの生命や財産を自衛する必要があったため。	室町時代末期から戦国時代にかけて、中央政府の統治力が弱まると、各地で戦乱が相次ぎました。堺の商人たちは自分たちの商業活動と安全を確保するため、堀を巡らせて武装し、独自のルールで町を運営する自治組織を作り上げました。しかし、後に織田信長や豊臣秀吉といった強力な権力者に屈服し、直轄領として組み込まれることでその自治性は失われていきました。
問9	答え 3 日宋貿易の拡大に伴い、国内の商業活動が盛んになって貨幣の需要が高まったため。	平安時代中期以降、日本では貨幣を鑄造する技術や制度が衰退していましたが、平氏による日宋貿易の推進などにより、経済活動が活発化しました。急増する貨幣需要に対し、日本側は金や木材などを輸出し、代わりに信頼性の高い宋銭を大量に輸入することで、年貢の銭納化などが進むきっかけとなりました。
問10	答え 4 有田焼。朝鮮出兵の際に大名たちが優れた技術を持つ陶工を連れ帰ったことで、佐賀県を中心に磁器の生産が始まった。	豊臣秀吉による2度の朝鮮出兵（文禄・慶長の役）の際、出兵した大名たちが朝鮮から多くの陶工を日本へ連れて帰りました。これにより、佐賀県の有田（当時の鍋島藩）において、それまでの日本にはなかった「磁器」の生産が始まりました。このことから朝鮮出兵は「焼き物戦争」とも呼ばれることがあります。有田焼は近くの伊万里港から積み出されたため、伊万里焼とも呼ばれます。
問11	答え 2 ポルトガルの植民地となった影響で、南アメリカ大陸のブラジルでは現在もポルトガル語が公用語となっている。	15世紀末からの大航海時代において、ポルトガルは南アメリカ大陸の東部に到達し、現在のブラジルにあたる地域を植民地としました。南アメリカ大陸の多くの国々がスペインの支配を受けてスペイン語を公用語としているのに対し、ブラジルはポルトガルの支配を受けた歴史的背景から、現在もポルトガル語を公用語としています。産業革命は18世紀後半以降の出来事であり、大航海時代の動機とは異なります。
問12	答え 1 対抗宗教改革におけるイエズス会	16世紀のヨーロッパでは、免罪符（贖宥状）の販売などをきっかけにルターやカルヴァンが教会批判を行い、プロテスタントの勢力が急速に拡大しました。これに対抗するため、カトリック教会は内部改革を進めるとともに、新大陸やアジアなどの海外に新たな信者を求める活動を展開しました。この一環として設立されたのがイエズス会であり、フランシスコ・ザビエルなどの宣教師が日本へも来航し、キリスト教が日本に伝えられる背景となりました。